

# 日本学士院

# 第五十四回公開講演会

講演一「再考・**維新経済史**  
—権力・商人・民衆—



日本学士院会員  
東京大学名誉教授

いしいかんじ

講師 **石井寛治**

◆司会 速水 融 会員



講演二「**土壌**による炭素貯留と  
地球温暖化」

日本学士院会員  
九州大学名誉教授

わだこうじ

講師 **和田光史**

◆司会 入谷 明 会員

開催日	平成 23 年 5 月 28 日 (土)
時間	開場 12 時 30 分 開演 13 時 16 時 10 分終了 (講演は質疑を含めそれぞれ80分程度を予定しています)
会場	松山大学 8 号館 820 番教室 (2 階)
共催	松山大学
後援	愛媛大学

事前申込制 お申し込み方法は裏面をご覧ください



お問い合わせ先

日本学士院公開講演会係 〒110-0007 東京都台東区上野公園 7-32

TEL : 03-3822-2101 FAX:03-3822-2105 WEB:<http://www.japan-acad.go.jp/>

入場無料

# 日本学士院 第54回 公開講演会

共催：松山大学  
後援：愛媛大学



日本学士院では、広く一般の方々を対象に、本院の活動を理解してもらうことを目的として、会員を講師に毎年春・秋2回講演会を実施しています。春季は全国各地、秋季は上野の本院会館で開催し、専門分野の異なる講師により研究成果を社会に分かりやすく発信しています。今回は松山大学・愛媛大学の協力を得て、初の四国での開催となりました。

日本学士院には各分野で高い業績を挙げた研究者が多数所属しています。本講演会は日本学士院会員の話を聞ける数少ない機会です。是非、奮ってご参加ください。

## 講演1

A Reconsideration of the Economic History of Meiji Reform  
—Government, Merchant, People

再考・維新経済史—権力・商人・民衆

日本学士院会員・<sup>いしいかんじ</sup>  
東京大学名誉教授 石井寛治

列強の外圧に対して、「攘夷か開国か」を激しく争った幕末日本の人々は、「攘夷のための開国」路線を選びながら権力を変革した。商品貿易と技術導入により産業革命を行うさいの資金面での担い手の中心は近世以来の商人であった。小生産者の成長による「民衆的対応」では欧米との巨大な技術格差を埋められず、中国洋務派のような「権力的対応」も民間の力を活かせずに挫折し、外国商人の活動を居留地内に閉じ込めた日本の「商人的対応」のみが、アジア初の産業革命への道を切り開いた。勝海舟や坂本竜馬の言動に象徴される独特な「攘夷のための開国」路線を辿った維新変革を見直し、それを経済面で支えた「商人的対応」の姿を、全国と愛媛の事例に即して考えたい。

司会 会員 速水 融



### 【講師プロフィール】

東京大学経済学部卒業。  
同大学教授、経済学部部長を歴任。戦前期日本における経済の実証的研究の第一人者であり、生糸・繊維物業の経済的研究や貿易金融システムの研究など、近代日本経済史研究において、膨大な研究成果を挙げている。

## 講演2

Soil carbon sequestration and global warming

土壌による炭素貯留と地球温暖化

日本学士院会員・<sup>わだこうじ</sup>  
九州大学名誉教授 和田光史

化石燃料の使用による大気CO<sub>2</sub>増加が地球温暖化をもたらすことが問題になっている。地球上で、光合成によってCO<sub>2</sub>から有機物をつくる植物を経由して、土壌に入り、有機物として貯留される炭素の総量は、大気と植物に存在している炭素の総量を超え、現在の大気CO<sub>2</sub>増加による温暖化は、1年に土壌の炭素総量の0.2%相当分が増加すれば解消する。

しかし、これを達成するにはいろいろ問題がある。土壌の炭素貯留量は土壌の種類によって大きく異なる。また、森林を伐採して農地にすれば、土壌の有機物は数十年で2/3～1/3に減少する。土壌の有機物は微生物による分解によって植物に栄養を与える働きに注目して研究されてきたが、CO<sub>2</sub>を大気から隔離・貯留して地球温暖化を抑制する働きに注目した新しい研究が展開されている。この講演では世界の土壌の炭素貯留能とその増強についての展望を試みる。

司会 会員 入谷 明



### 【講師プロフィール】

九州大学農学部卒業。  
同大学教授、同大学総長、長崎国際大学学長を歴任。土壌学、特に火山灰土壌研究の権威で世界の火山灰土壌の粘土鉱物と化学的性質の特異性を究明、その農業生産性の向上に多大の貢献をしている。

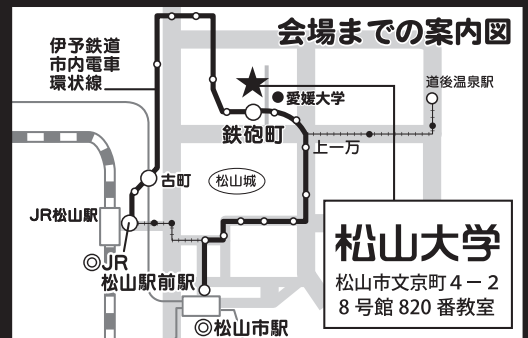
## お申し込み・お問い合わせ先

日本学士院 公開講演会係 〒110-0007 東京都台東区上野公園 7-32  
TEL: 03-3822-2101 FAX: 03-3822-2105 e-mail: kouenkai@japan-acad.go.jp

## お申し込み方法 (定員 200 名・先着順) ※事前にお申し込みが必要です

e-mail、ファックスまたは往復はがきのいずれかの方法で住所、氏名、電話番号、メールアドレス等の連絡先を記載して、上記の連絡先にお送りください。お席に限りがございますのでお申し込みはお早めをお願いいたします。

◎本院ウェブサイト (<http://www.japan-acad.go.jp/news/2011/030101.html>) からもお申し込みできます。



### 【伊予鉄道市内電車環状線】

JR 松山駅前駅・古町経由 (15分) 鉄砲町駅から  
松山市駅・上一万経由 (20分) 徒歩 5分

※お車でのご来場はご遠慮ください。